

科目名	看護研究方法論 II (質的研究) Nursing Research Methodology II		担当教員 (研究室番号)	浦野 茂 (502)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 後期	科目区分	共通科目		選択区分	選択	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	可
											遠隔授業	否
科目目的	この授業の目的は、質的研究の基本的考え方と方法、意義についての理解を深めるとともに、これを看護実践の向上へと活かしていく方法について考察していくことである。この目的に向けて、この授業では、質的研究論文のクリティークから簡単な調査デザインとデータ分析の作業までを実践していくことで、質的研究の基本的研究能力を養う。											
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 質的研究の考え方と特性、意義についての理解し説明することができる。 2. 質的研究の調査デザインの方法の習得し説明することができる。 3. 質的研究の分析方法の習得し説明することができる。 											
成績評価方法 (基準)	レポート(70%)と平常点(口頭発表・討論への参加)(30%)による。											
教科書	なし											
参考書等	適宜、指示および配布する。											
受講者へのメッセージ	質的研究が、皆さんの研究にとってどう使えるのかを考えながら、授業に参加してほしい。											
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	質的看護研究の基本的な考え方①				看護研究の中で質的な研究手法にどのような意義があるのか、概説する。				浦野	講義		
2回	質的看護研究の基本的な考え方②				質的研究の目的と意義、基本的な考え方について、概説する。				浦野	講義		
3回	質的看護研究の基本的な考え方③				質的研究の様々な方法と研究プロセスについて、概説する。				浦野	講義		
4回	質的看護研究のクリティーク①				質的看護研究の文献を取り上げて担当者が報告を行い、全員で検討を行うことを通じ、質的研究の方法を理解する。				浦野	演習		
5回	質的看護研究のクリティーク②				質的看護研究の文献を取り上げて担当者が報告を行い、全員で検討を行うことを通じ、質的研究の方法を理解する。				浦野	演習		
6回	質的看護研究のクリティーク③				質的看護研究の文献を取り上げて担当者が報告を行い、全員で検討を行うことを通じ、質的研究の方法を理解する。				浦野	演習		
7回	質的看護研究のクリティーク④				これまでの文献検討と履修者各自の研究課題を踏まえ、質的看護研究の意義と課題について考察する。				浦野	演習		
8回	質的看護研究の調査デザイン①				質的調査・研究を行うための具体的方法について学ぶ。この回は、質的研究にふさわしい研究課題の立て方について理解する。				浦野	演習		
9回	質的看護研究の調査デザイン②				質的調査・研究を行うための具体的方法について学ぶ。この回は、量的調査研究との関係において質的研究の位置づけとその意義について文献の購読と解説をおこなう。				浦野	演習		
10回	質的看護研究の調査デザイン③				質的調査・研究を行うための具体的方法について学ぶ。この回は、履修者による模擬調査計画書の検討を通じ、質的研究にふさわしい研究課題の立て方について解説する。				浦野	演習		
11回	質的看護研究の調査デザイン④				質的調査・研究を行うための具体的方法について学ぶ。この回は、履修者による模擬インタビューガイドの検討を通じ、インタビューガイドの構成方法とインタビューの実施方法について学ぶ。				浦野	演習		
12回	質的看護研究のデータ分析方法①				質的調査によって得られたデータを分析する方法について学ぶ。この回は、履修者によるインタビューデータに基づき、トランスクリプト(文字転記・逐語録)の作成方法と整理方法(コード化とカテゴリー化)を学ぶ。				浦野	演習		
13回	質的看護研究のデータ分析方法②				質的調査によって得られたデータを分析する方法について学ぶ。この回は、履修者によるインタビューデータの分析に基づき、データの分析方法について学ぶ。				浦野	演習		
14回	質的看護研究のデータ分析方法④				質的調査によって得られたデータを分析する方法について学ぶ。この回は、履修者による分析結果の考察をもとに、研究課題と分析結果とを接合する仕方について学ぶ。				浦野	演習		
15回	総括				質的看護研究によって得られた知見がさらなる看護研究および看護実践に対して持っている意義について、理解を深める。				浦野	講義		